

「ロシアによるウクライナ侵攻の 東アジアへの影響」

5月14日 (土) 13:45~16:00
(13:00~13:30 学会総会)

中統奨学館ビル4階 名古屋市中区栄4丁目16番29号 TEL 052-262-1410
地下鉄栄13番出口 徒歩5分 旧中日ビル南4本目交差点手前左角

ロシアによるウクライナ侵攻は戦後の国際秩序を揺るがし、東アジアへの影響も懸念される。中国、台湾、日本はどう対応するのか。安全保障をはじめ様々な角度から専門家が分析する。

開会の辞 13:45~13:50

川村範行・名古屋外国語大学名誉教授、当学会会長

発表Ⅰ 13:50~14:40

「安全保障面から見た中国・台湾・日本の対応」

片原栄一・元防衛省防衛研究所教官、元神戸学院大学教授
『東アジア戦略概観』元編集長、当学会員
(国際政治学、東アジアの安全保障)

発表Ⅱ 14:45~15:15

「非伝統的安全保障をめぐる中国・台湾・日本の関係」

加治宏基・愛知大学教授 (中国外交論、東アジア国際関係論)

質疑 15:25~15:50

コーディネーター 兪敏浩・名古屋商科大学教授、当学会運営委員

閉会の辞 15:50~16:00

小原道雄・元JNNウイーン支局長、当学会理事 事務局長

後援予定：中日新聞社、(一社)東海日中貿易センター、(株)名古屋銀行、(一社)日中文化協会

【会場参加(先着40名)】 学会員：無料、一般：1,000円/学生：500円(資料代込み)

【オンライン参加(先着80名)】 学会員、一般とも無料

2022年5月8日締切。オンライン参加者にはZOOMの招待メールを開催前にお送りします。

お申込み
お問合せ

東海日中関係学会事務局

〒458-0824 名古屋市中区緑区鳴海町有松裏86-15 東アジア・日中関係研究所内
E-mail tokai.n.c.a@gmail.com FAX 052-624-7878